

「東京ビエンナーレ 2023」において講演を行いました（2023/10/30）

テーマ：東京ビエンナーレ、国際芸術祭、関東大震災  
会場：エトワール海渡リビング館（東京都千代田区）

2023年9月23日から11月5日にわたり、「東京の地場に発する国際芸術祭 東京ビエンナーレ2023」秋会期が開催されました。

東京ビエンナーレは、2年に1度、世界中から幅広いジャンルの作家やクリエイターが集まり、東京を舞台に開催される国際芸術祭です。今回は「リンクエージ つながりをつくる」をテーマとし、東京都心北東エリアを中心に、約4ヶ月にわたって様々な作品の展示やイベント、パフォーマンスが行われました。

アーティストと災害地域の住民たちによる活動を記録した展覧会シリーズ「つくることは生きること」の一環として、未曾有の大災害となった関東大震災から 100 年の節目となる今回、会期最終週の 10 月 30 日に、シンポジウム「つくることが生きること 2023：震災 100 年、その時アートは」が開催されました。当研究所の村尾修教授（国際防災戦略研究分野）はその中で、「災害・復興・防災：関東大震災からの 100 年」と題し、講演を行いました。海外の事例を交えながら、過去日本が経験してきた災害からどのように首都圏が復興を遂げ、拡大し、独自の文化が養われてきたか、都市史における被災と復興について講じ、また登壇者と災害とアート・文化に関して討論しました。



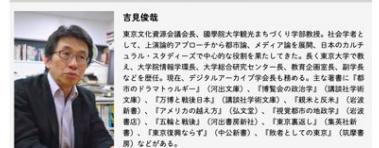
### 会場の様子



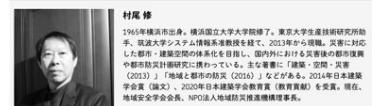
集合写真



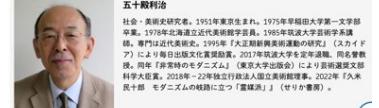
## パネルディスカッションの様子



第二輯・概念・議論の「政治的」理由：「保守」「復興」「防衛」



A solid black horizontal bar located at the very bottom of the page, serving as a footer or a decorative element.



登壇者紹介

写真：杉山亜希子（写真事務所「ゆかい」）  
文責：村尾修（国際防災戦略研究分野）